

令和 4年度 施策評価シート（令和 3年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち

施策 01 生活環境の保全

主管課： 生活環境課

関係課： 管財課、経済課、都市計画課、建設課、生涯学習課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民、事業者、行政	快適な生活環境が守られ、環境にやさしいまちをつくる。

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

良好な生活環境が保たれていると思う市民の割合 (％) 生活環境課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
78.80	77.90	79.50	77.80	83.30	81.20	80.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和3年度の割合は81.2%で、前年度比2.1ポイント減少しましたが、基準値から2.4ポイント上回り、目標値を達成しています。 (原因) アンケート結果の在住期間別では、20年以上の方の割合は80%未満となっていますが、それ以外では80%を超えています。また、居住地区別では、南・北団地などの人口密度の高い地区では80%を超えています。また、美園地区や旧市街地、比較的人口密度の低い大野・高野地区で低い数値になっていることから、在住年数や住んでいる地区で環境に対する意識の違いが表れています。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

1 契約1月当たりの平均電気使用量 (Kwh) 生活環境課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
306.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	288.00
向上指針		※平成28年度4月から、電力自由化に伴い販売データの提供が東京電力より受けられなくなったため、指標値の取得が出来なくなった。				
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

自然環境に満足している市民の割合 (％) 生活環境課						
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	目標値 (R03)
79.30	79.20	82.70	80.80	85.40	85.20	81.00
向上指針	上がると良い	(状況) 令和3年度の割合は85.2%で、前年度比0.2ポイント減少となりましたが、基準値から5.9ポイント上回り、目標値を達成しています。 (原因) アンケート結果の在住期間別では、全ての区分で目標値を上回っており、特に1年未満では91.5%となっています。また、居住地区別では、守谷A地区で80%未満となっていますが、他の地区は全て目標値を上回っており、特に守谷B地区では92.7%となっており、市民の守谷の自然に対する満足度は高い状況にあります。				
対前年度	横ばい					
目標達成度	達成					
次年度課題	課題としない					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
	決算	決算	決算	予算	見込
事業費合計	42,857	37,183	42,030	53,369	53,369
人件費	17,208	18,653	16,968	0	0
トータルコスト	60,065	55,836	58,998	53,369	53,369

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度
01 生活公害・産業公害の防止	向上	向上				42,490	36,601	40,152	51,176	51,176
02 地球温暖化対策の推進	低下	低下				295	0	1,689	1,839	1,839
03 環境保全活動の推進	低下	向上				51	51	178	325	325
99 施策の総合推進						21	531	11	29	29

5 施策全体の取組状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

第2次守谷市環境基本計画に基づく市の取組状況や調査結果等をまとめた環境報告書を公表し、市の環境施策の周知に努めるとともに、市民に新型コロナウイルス感染防止に配慮した環境美化活動の実施を要請しました。また、地球温暖化対策への取組として、守谷市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、関係課に取組推進を求めるとともに、令和4年度の地方公共団体実行計画（区域施策編）策定に向け、再生可能エネルギー導入計画策定業務に着手しました。今後の課題は、低調な市民・事業所のエコ・省エネ行動の実践推進やコロナ禍における環境活動の参加率向上であると考えます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

環境活動に参加している市民や事業者の割合が停滞しているため、広報紙やホームページ、SNS等を活用して市の施策や環境活動に関する情報を発信・周知することで、環境活動に参加する市民や事業者の増加に努めます。 また、地球温暖化対策への取組として、守谷市役所地球温暖化対策実行計画に定めた施策の実行に努めるとともに、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」に向けた施策を検討し、推進します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性

生活環境の保全を図るため、省エネ活動や環境活動に参加する市民・事業者の割合が減少又は停滞していることから、広報紙やホームページ、SNS等を活用し、市の施策や環境活動に関する情報を発信・周知することで、活動に参加する市民・事業者の増加に取り組みます。 また、地球温暖化対策への取組を推進するため、守谷市役所地球温暖化対策実行計画に定めた施策の実行と併せて、令和4年度に策定する地方公共団体実行計画（区域施策編）に基づく施策について、民間活力や国の補助金等を活用して取組を推進します。	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加